

直近1週間の岡山県の状況 (8/26~9/1)

◎国のステージ判断のための指標

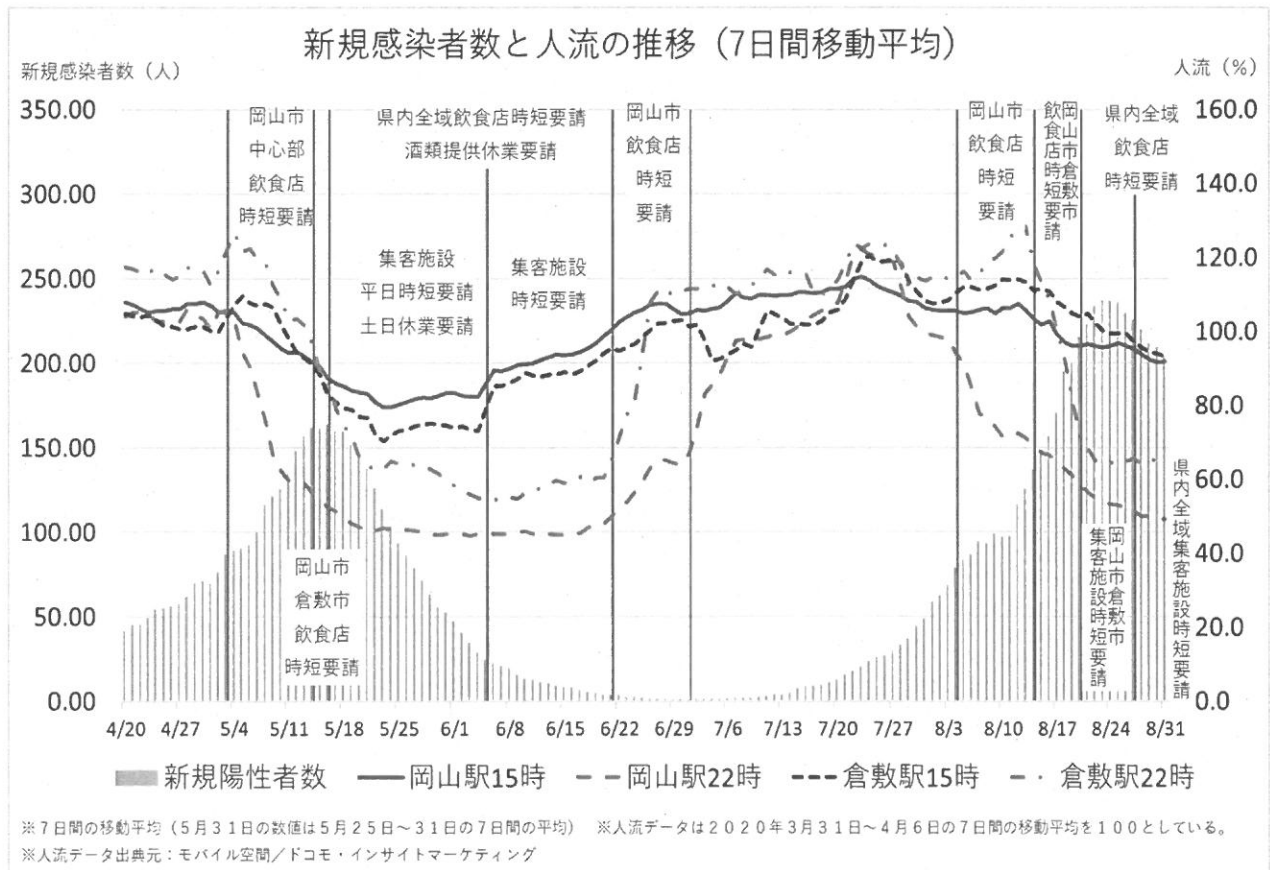
総合的判断：ステージⅣ

指標	医療提供体制等の負荷 (※1)		②療養者数 ※入院者+自宅・ 宿泊療養者数	監視体制	感染の状況	
	①医療の逼迫具合			③PCR陽性率	④新規陽性者数	⑤感染経路 不明割合
	入院医療	重症者用病床				
Ⅲ	確保病床の 使用率 20%以上	確保病床の 使用率 20%以上	20人 /10万人 以上	5%以上	15人 /10万人/週 以上	50%以上
Ⅳ	50%以上	50%以上	30人 /10万人 以上	10%以上	25人 /10万人/週 以上	
現況	<ステージⅢ> 48.1% 268床/557床	<ステージⅢ> 30.9% 21床/68床	<ステージⅣ> 90.05人 (1,702人)	<ステージⅣ> 11.2% 1,360/12,189 (※2)	<ステージⅣ> 71.96人 (1,360人)	39.4% 536/1,360

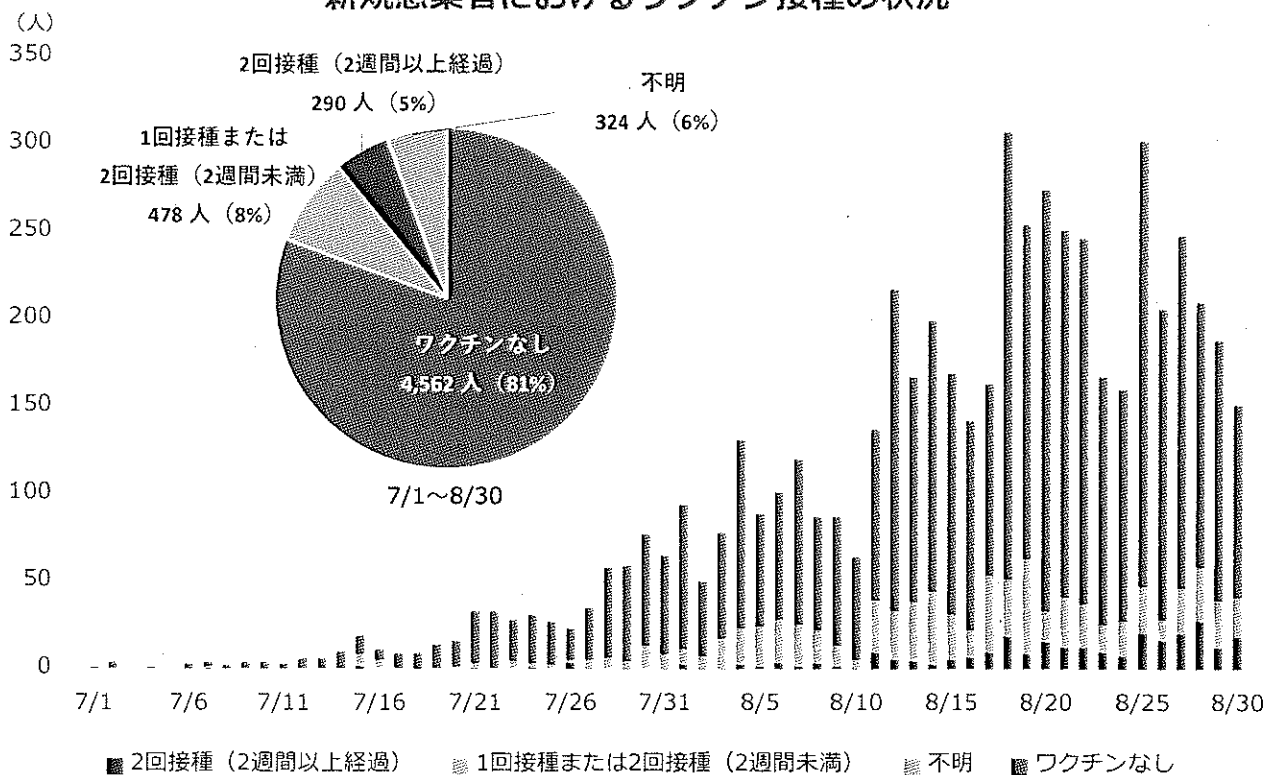
(※1) 医療提供体制は9月1日時点の状況

(※2) 「PCR陽性率」欄は、9月1日までに医療機関から報告があった検査数

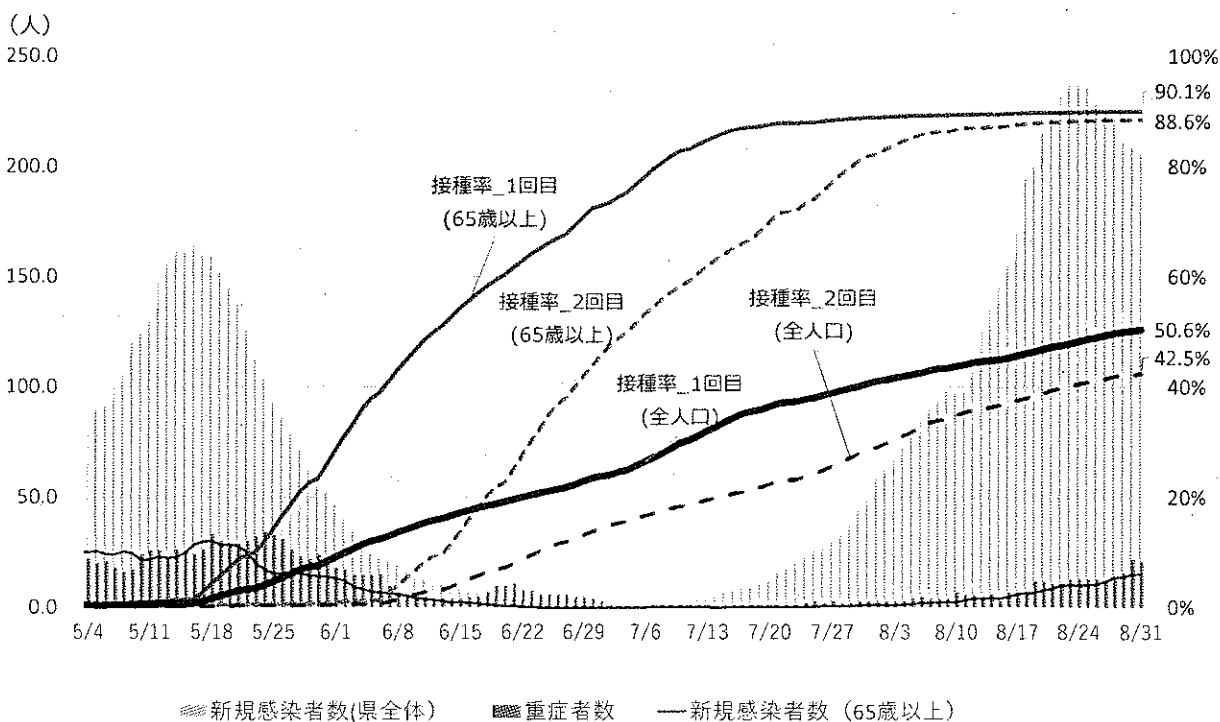
(※3) 本県では、「新規陽性者が、発生届が届け出られた翌日までに療養場所の種別が決定され、かつ入院が必要な者が同日までに入院済み」のため、入院率は適用しない。



新規感染者におけるワクチン接種の状況



新規感染者数 (7日間移動平均)、重症者数とワクチン接種率



※全人口は、ワクチン接種の対象年齢に満たない子どもを含む。

※接種率は、ワクチン接種記録システム (VRS) に登録された接種件数によるもので、医療従事者等への接種件数は除く。

※医療従事者等への接種件数を含めた接種率は、1回目：57.6% 2回目：48.6% (8月31日時点)

マスクの効果について

■厚生労働省 HP 「新型コロナウイルスに関する Q&A (一般の方向け)」より抜粋

問1 マスクはどのような効果があるのでしょうか。

マスクの素材や、人と人の距離感等によって、マスクの効果には違いが生まれます。ここでは御自身の目線で説明するため、便宜上、「飛沫を出す側：自分」「飛沫を吸い込む側：相手」と記載します。

まず、**マスクの素材ですが、一般的なマスクでは、不織布マスクが最も高い効果を持ちます。次に布マスク、その次にウレタンマスクの順に効果**があります。もちろん、人の顔の形は千差万別ですので、同じ素材のマスクの間でも、自分の顔にぴったりとフィットしているマスクを選ぶことが重要です。また、マスクのフィルターの性能や布の厚さなどによっても差が出ます。(略)

(参考) マスクの効果について

